

ぽれぽれ 通信

SNSの活用による

新たな災害対策

1・2月号
vol.50



周りで何が起きて いるか分からない

「強い勢力を保ち台風15号がやってきました」、ニュースなどで警戒を呼び掛けていた。それは、9月9日に上陸し、千葉県

相次ぐ台風被害に 山本発想の 災害派遣の新戦略

を中心に甚大な被害を出した。月曜だったこともあり首都圏では、通勤通学時に大きな混乱が生じたので、当日のことをご記憶の読者も多いことだろう。ここ神奈川県4区（横浜市栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町）

も被害に遭い、特に鎌倉は倒木と土砂による道路の寸断が起き、停電と孤立地域が生じた。翌10日には自衛隊の先遣隊を派遣し、現場の被害状況の確認、そして11日には本隊が到着し、倒木除去、道路啓開（ひらき）を実施する計画だった。この時、山本は自民党の国防部会長として与党の安全保障政策の責任者を務めており、自身の選挙区内のことでもあり、いち早い情報の提供も被災者には心の支えになるだろうと考え、自身のSNS上で情報発信を行った。「報目は「停電の続いている鎌倉市では台風による倒木と土砂の影響で停電の復旧作業が行えない状況で、陸自第31普通科連隊（武山）及び第4施設群（座間）の隊員4名、車両2両を派遣し、現場の状況を確認。明日、倒木と土

砂を取り除く作業を開始する予定」と。二報目は「明日、5時代よりヘリ映伝を用いて、本日、地上からは立ち入り不能で確認できなかった部分の状況把握予定。それを踏まえて、7時30分頃より陸自第31普通科連隊(武山)、第4施設群(座間)の計約100名にて作業開始予定」と。この発信を見た市内の方々が、「自衛隊が助けに来てくれると早期に分かりとても安心した」と、後に山本に声を掛けて頂いた。因みに、過去遡れる昭和47年度まで記録を確認したが、鎌倉市に自衛隊を投入したのは初めてのことだった。

今、求められる 防衛問題への政策通

昨年の西日本豪雨の際に、防衛副大臣として災害派遣の

指揮を執った経験から現場の声を早くキャッチして対応するのが大切だと感じていた山本は、鎌倉のことだから自身が先頭に立たねばと思い、SNS上に下記の情報を発信した「鎌倉市での災害派遣について。現在、二階堂地域で部隊が展開中。基本、自治体(鎌倉市)からニーズを聞いて動きます。現在、市からは二階堂だけのニーズです。私が仮想LO(連絡員)となりますので、支援が必要な場所があればご連絡下さい。但し、民間組織が対応可能なものは、その限りではありません」と。直ぐに複数の方からSOSの連絡があり、それらひとつひとつを防衛省に伝え、防衛省は県や市と相談し対処する。この繰り返しが続いていた最中、今度

は千葉県の方々からも多数のSOSが来た。それらも全て山本が一人で対応し続けた。そのような時に、内閣改造で13日に再び防衛副大臣に認証され、更に加速度的に千葉県の被災者からのSOSの連絡が増えていった。SNSなので外部の人も見ることが出来る。ある時、防衛省を担当している記者が山本に「凄いですけど、流石に一人で捌けないでしょ？スタツフに担当させたらどうですか？」と言ってきたほどの圧倒的な量であった。ただ山本は、自身の事務処理能力がどこまで追いつくのか不安も感じていたが、自分の判断で勝手に始めたことをスタツフに押し付けることは出来ない、と最後まで一人でやり切った。

防衛省に災害対策アカウントを創設

台風15号が過ぎ去った、と思っ
たら直ぐに、非常に強い勢力
で台風19号が来る、との報に
接した山本は、気象庁の「今回
の台風に伴う大雨は、局地的
に猛烈な雨が降るタイプとは
違つて、非常に広い範囲で非常
に激しい雨」との判断を確認
し、今回は、一人で仮想LO（連
絡員）を実施するのは無理だ
と判断した。そして、仮想LO
（連絡員）が、明らかに被災者
のためになったことを実証し
た山本は、早速、防衛省の内局
と相談し、台風19号が上陸す
る前に、SNSで防衛省公式
の災害対策に特化したアカウ
ントを創設した。当初、内局の
職員も「防衛省の公式アカウ
ントは既に存在しているので、

そこで対応出来るのでは？」と
難色を示していたが、山本が
「それでは他の広報の情報など
とごちゃ混ぜになるのでダメ
だー災害対応に特化したもの
でなければ意味がない。スマホ
やPCから、災害対策アカウン
ト（場）にアクセス（訪問）さ
えすれば、自衛隊の部隊が、ど
の市町を指して出動している
か、どこに行けば給水支援を受
けられるのか、どこに行けば何
時から何時まで入浴支援が受
けられるのか、被災者にとつ
て大切な情報を二カ所に集約し、情報発信を行つた方がいのだ」と説き伏せて、災害対策専門のアカウントを創設した。ただ、内局の職員にしてみれば、初めての試みなので最初は、なかなか上手く使いこなせなかった。しかし、

山本が「入浴の際には何を持つて行けばいいのかが、準備されているものは何なのか、そう言った具体的な情報が被災者には大切だ。文章が行政文書のように固いので、被災者がほっと出来るような温かい口調で書いて欲しい」などなど具体的な改善の指示を出して更に良いものへと進化した。いずれ山本が、また副大臣を退任した後も、この制度は活かされ、困つた人を救う二助になるだろう。



▲山本が創設した災害対策専用のtwitter画面



ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

第10回は、「七宝焼同好会」の活動を紹介します。



七宝焼同好会は平成元年から30年続く歴史あるサークルだ。主にアクセサリーを七宝焼で作っていて、水に溶かした釉薬ゆうやくを塗り、それを窯で焼くと色つやが出てとても綺麗なんだ！窯で焼くには技術がいるけど、先生がやってくれるから初心者でも安心して作れるぞ。失敗しても上から何度も塗り直しができるから、気軽に自分の好きなアクセサリーを作れるんだ！

活動日は月に2回、第1・第3木曜日の10:00から12:00を目安に活動をしている。場所は大船行政センターだ。会費は月2,500円と部屋代500円の合計3,000円

で、月1回のみ参加の人は1,500円でもいいんだ。

入会金は2,500円で、参加資格は特にないから、誰でも参加することができぞ！

七宝焼の型には、ブローチから装飾を施したスプーンまでいろいろなものがあるからプレゼントにも向いているんだ。宿題もなくって続けやすいから、気軽に見学がてら遊びに来てくれ！楽しくおしゃべりしながら自分だけのアクセサリーを作ろう！現在会員も募集しているので興味のある方は下記連絡先まで問い合わせしてみてください！



お問い合わせ先

代表者 伊藤由美子

連絡先 0467-44-1262



駅で「ぽれぽれ通信」を
お配りしております
駅頭活動報告

「雨の中、ご苦勞様」「twitter見てます」
「いつも応援しているので頑張っ」など
沢山エールを頂きました。
皆様、誠に有難うございます。



朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

前回の「ぽれぽれ通信」配布数

11月・12月集計分

駅名	11月	枚数	12月	枚数	前月比
逗子駅	22日(金)	384	5日(木)	154	↓
新逗子駅	8日(金)	287	20日(金)	136	↓
鎌倉駅(東口)	12日(火)	387	16日(月)	127	↓
鎌倉駅(西口)	25日(月)	167	4日(水)	338	↑
大船駅(西口)	13日(水)	262	12日(木)	384	↑
大船駅(モノレール口)	15日(金)	175	9日(月)	166	→
大船駅(東口)	19日(火)	191	6日(金)	353	↑
大船駅(笠間口)	28日(木)	409	18日(水)	288	↓
本郷台駅	21日(木)	361	13日(金)	371	→
港南台駅	29日(金)	188	24日(火)	164	↓
	11月配布合計	2,811	12月配布合計	2,481	↓

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



ついに発表、「ストレスオフ・デザイン賞」設立へ

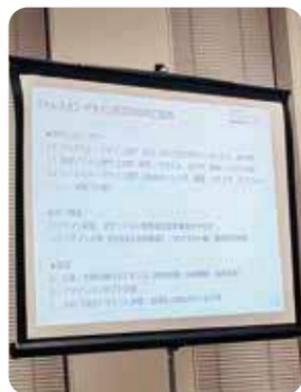
山本らが協力している「(一社)ストレスオフ・アライアンス」などの連携により開催された第三回シンポジウム。官民一体となって取り組みが進んでいる。

過日11月23日は勤労感謝の日であるとともに「ストレスオフの日」に制定されている。その前日、山本が立ち上げから携わっている一般社団法人ストレスオフ・アライアンスの第三回シンポジウムが開催された。



今回の講演では「ストレスオフな建築空間とはどのようなものか、またストレスオフ・デザインによる社会や産業に対する貢献について」といった講演が行われたが、特に注目したのが「ストレスオフ・デザイン賞」の設立の発表だ。

ストレスオフ・デザイン賞とは、生体・客観評価のエビデンス及び、感性に基づく主観評価による認証プロジェクトで、選考部門は「プロダクト・デザイン部門」「環境デザイン部門」「ソーシャル・デザイン部門」の3部門。2020年11月にデザイン大賞の発表を目指す。



現代日本にとって深刻な問題である「ストレス性疲労」に対し、精進神論ではなく、統計や根拠に基づいてデータ化し、様々なかたちで対処していくための試みだ。

ストレスオフ社会の実現を目指し、創意工夫によって一連の仕組みを社会へ実装すべく、さらにプロジェクトを進めていきたい。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒業 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任

自由民主党 衆議院議員 (4期 11年)

神奈川県鎌倉市・逗子市・葉山町

昭和50年(1975年)生まれ
44歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会・防衛省見学案内実施中!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語の「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和2年(2020年)1月6日発行 第50号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。